

社会福祉法人 白恵会

(グループホーム 恵の家)

令和7年度 事業報告

- | | | |
|---|----------|----------------|
| 1 | 所在地 | 大阪府貝塚市窪田166番地6 |
| 2 | 利用定員 | 18名 |
| 3 | 職員定数 | 18名 |
| 4 | 事業運営基本計画 | |

【事業目的】

1. 介護保険法に基づき、地域密着型サービスとして認知症の高齢者が可能な限り住み慣れた地域で24時間、365日、家庭的な環境の中で共同生活ができる。
2. 入居者の方々の尊厳を尊重し、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び生活リハビリを行う事により、入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るような体制をつくる。
3. 地域福祉に必要な資源として、このサービスを必要とされる市民に空床をつくることなべく円滑に事業を行う。
4. 地域住民との交流のもとで、地域の他の社会資源との連携を図り、よりよいまちづくりの為に発言基地となる。

【事業方針】

- ① ケアプラン作成時、十分なアセスメントのもとご本人のニーズ、ご家族ニーズを把握し、関連事業所・スタッフ間の情報のもとにサービス担当者会議を適時に開催し、ホームでの毎日の生活がご本人にとって楽しいと思えるように話し合います。
 - ② 適切なケアプランの示、的確な支援を行うことでQOLを保ち「その人らしさ」や「質の高い生活」「人間の尊厳」を守ります。そのために必要なケアスタッフのサービスの質の確保、向上を目指します。
 - ③ 職員が当ホームの理念に向けて専門性を持って働ける体制をつくります。
- ・ グループホームの方針を実際のケアに活かすため全体職員会議、ユニット別会議の充実を図ります。また、法令定められた研修についてもこの会議運営で行います。
 - ・ 認知症ケアの専門性やグループホーム運営に必要なより高い専門性を獲得するために、集合研修や個々の職員に必要とされる研修について計画化し実施します。

- また、職員同士の勉強会はその自発性を持って開催できるようにします。
- 朝、夕方日行う内容の整理、観察・記録の取り方の指導
- ④ 法人内や他の事業所との連携を行い入居者へのサービスをさらに広げるための協力体制を作ります。
- ⑤ グループホームにおける家族会は、ご利用者個々のケア内容を通じて施設運営の問題点課題を相互に意見交換し、ご利用者に対してより高いサービスが提供されるための機会です。事業者として家族会での意見反映がきちんとできること、ご家族同士の連携を更に充実できるように進めます。
- ⑥ グループホーム地域運営推進会議は、事業者、ご家族代表者、地域代表者、地域包括等の方々をメンバーに事業所運営やサービス内容等を報告し、広くご意見をいただく機会です。また地域とともにあるグループホームの様々な活動に参加していただきながら、地域に根差し、共によりよい住みやすいまちづくりを進めていけるよう共に協力していきます。積極的に情報の発信を行い地域に信頼される事業所を目指します。
- ⑦ 法令を遵守するとともに、個人情報保護の保護に留意し、情報提供及び情報開示、並びに説明責任を果たします。・サービスの提供にあたっては計画について十分な説明を行い、利用者の理解と同意を得ます。
 - 利用者の権利とプライバシーを尊重し、個人情報の保護に努めます。
 - 利用者の人権擁護・自己実現の視点から身体拘束廃止、虐待防止、事故予防を重視します。
- ⑧ 法人内の内部監査及び福祉サービス第三者評価、介護サービス情報公開制度により客観的な評価を受け、改善内容について積極的に取組み、サービスの質の向上に努めます。

【事業報告】

* 総収入：91,948千円

・内訳…介護保険収入：67,433千円、固定費収入：24,515千円

* 稼働率：97%

【会議】

○役職会議

開催：月1回 16時00分～17時00分

・年間計画書の策定、年間報告書の策定、方針の策定と実践目標管理（上・下半期）、重要事案の検討、決定、入居者の入退居に関すること、経営状況の把握と対策、職場環境に関すること、その他：必要な事項

出席者：ホーム長、主任（場合によって、理事長も参加）

○全体会議

開催：月1回 9時15分～9時30分

・主任会議で決定したことの報告、年間計画・報告、研修、ケアプラン検討、事故・ヒヤリハット報告、苦情に関すること、事業に関する社会の状況、労務・人事に関すること、各委員会の活動計画・報告

出席者：全介護職員

○ユニット会議

開催：月1回 9時00分～9時15分

ユニットごとの利用者のサービス内容の状況把握。業務内容の点検と問題点の改善等。

出席者：各ユニット職員

○運営推進会議 年6回（隔月：5月・7月・9月・11月・1月・3月）

・地域との連携、地域づくりをはかることを目的に開催

・活動状況の報告要望・助言を受ける

出席者：利用者・ご家族代表・地域の方・行政・包括支援センター・ホーム長・理事長

【委員会】

○防災対策委員会

年2回（うち、2回は法人主催）

活動計画作成と実施及び実施記録の作成。

出席者：防災管理者防災火災担当、火元責任者 介護職員

○危機管理委員会（安全対策委員会・苦情解決対応委員会）

開催：月1回 毎月1日 16時：00分～17時：00分

・活動計画作成と実施。活動報告書作成。

・年2回の安全対策に関する施設内研修の実施計画。毎月の事故・ヒヤリハットの集計・分析苦情や不満に対する検討と対策。

出席者：法人との連携 ホーム長、主任、介護職員

○ケア向上委員会（職員教育研修）

（個別ケアプラン担当者会議）

開催：月1回 毎月1日 16時：00分～17時：00分

・活動計画作成と実施。活動報告書作成。

・現状把握と課題に対応する改善策の検討など。

・職員教育の活動計画作成と実施。

・活動報告書作成。

・各入居者のケアプランの検討と作成

出席者：ホーム長、主任、担当職員

○環境整備委員会・行事及びボランティア担当委員会

開催：年6回（隔月：5月・7月・9月・11月・1月・3月）

・活動計画作成と実施。活動報告書作成。

・ホーム内の環境整備・美化・点検。

・活動計画作成と実施。

・活動報告書作成。

・地域交流プログラムの検討

・ボランティアの受け入れ態勢と支援計画。

出席者：主任 担当職員

【研修報告】

- * 接遇・ローナー研修 R7.4.20 8名
 - * 事故発生予防・再発防止等、安全対策に関する研修 R7.5.23 10名
 - * 非常災害時の対応に関する研修 R7.6.23 8名
 - * 食中毒の発生予防および蔓延の防止に関する研修 R7.7.19 10名
 - * フライバシー保護に関する研修 R7.8.23 9名
 - * 認知症及び認知症ケアに関する研修 R7.9.19 9名
 - * 法令順守に関する研修 R7.10.20 7名
 - * 感染症の発生予防及び蔓延の防止に関する研修 R7.11.25 8名
 - * 緊急時対応に関する研修 R7.12.25 12名
 - * 倫理に関する研修 R8.1.22 7名
 - * 虐待防止・身体拘束排除に関する研修、人権啓発推進研修 R8.2.20 9名
 - * 医療、看取りに関する研修 R8.3.20 10名
 - * 防災研修・月1回
 - * 高齢者虐待研修・年2回(6月、12月)
 - * 身体拘束研修・年2回(4月、10月)
- (上記参加できなかったスタッフには、後日伝達を行い周知しております。)

【年間行事報告】

- 4月 お花見 二色浜公園 (家族様15名参加) R7.4.5
- 5月 母の日 (めぐみ苑 テイサービス合同) BBQ R7.5.23
ホームにて4.5月誕生日会
- 6月 父の日 6.7月誕生日会 (1F 2F 合同) たこ焼きランチ R7.6.16
西幼稚園の訪問 歌や入居者様とのコミュニケーション R7.6.19
- 7月 セタ (1F 2F 合同) 笹飾り R7.7.7
- 8月 納涼祭 (めぐみ苑 テイサービス合同) 泉州音頭
白龍会さんの盆踊り R7.8.12
- 9月 敬老の日 (めぐみ苑 テイサービス合同) 第二中学校和太鼓クラブ訪問
和太鼓演奏会 R7.9.15
ホームにて8.9月誕生日会 手作りのおはぎ
- 10月 窪田町だんじり観覧 R7.10.12
- 11月 文化の日 10.11月誕生会 (1F2F 合同) 手作りのお弁当 R7.11.3
- 12月 クリスマス会 (めぐみ苑 テイサービス合同) R7.12.25
ホームにて 12.1月誕生日会
- 1月 お正月 おせち料理 カラオケ (各階にて) R8.1.1
- 2月 節分 (1F 2F 合同) 手作りのお弁当 家族様9名参加 R7.2.2
- 3月 ひな祭り、2.3月誕生日会 (1F 2F 合同) R7.3.3

【家族会】 2回/年 お花見 節分

【グループホーム地域運営推進会議】 隔月（6回/年）

出席者… 貝塚市高齢介護課職員 . 貝塚市議会議員 . 中央包括
家族様

【グループホームボランティア交流会】

- ・ 西幼稚園児 盆踊り 第二中学校和太鼓クラブ

【A/Bユニット交流会】カラオケ 茶話会 月1回

【季節行事】 ひな祭り、お花見、七夕、敬老会、クリスマス会等

【お誕生日会】 利用者の誕生日に合わせて開催

【地域行事への参加】

- ・ 地域との交流（地域清掃、資源ゴミ回収）（だんじり祭り）（窪田町盆踊り）
- ・ 中学校との交流（第二中学校職業体験）
- ・ 広報誌発行 年4回